

# 清政

神道政治連盟京都府本部会報  
平成16年6月23日発行(年2回発行)



Shinto Association of  
Spiritual Leadership

皇<sup>い</sup>后<sup>は</sup>陛下<sup>ご</sup>下<sup>ご</sup>御<sup>ご</sup>歌<sup>か</sup>

旅<sup>い</sup>斎<sup>は</sup>ふと

参<sup>ま</sup>来<sup>み</sup>し<sup>こ</sup>丘<sup>こ</sup>の

み<sup>み</sup>さ<sup>さ</sup>と<sup>と</sup>ぎ<sup>ぎ</sup>に

花<sup>は</sup>さ<sup>さ</sup>は<sup>は</sup>に<sup>に</sup>持<sup>も</sup>つ

み<sup>み</sup>柵<sup>さ</sup>捧<sup>か</sup>ぐ



# 36

自<sup>じ</sup>彊<sup>き</sup>不<sup>ふ</sup>息<sup>そ</sup>  
ふたつの家族/退任の挨拶  
慰霊と感謝の杜 靖國神社  
おがたまの木コンサートご案内  
事務局からの活動報告  
神政連時局講演会報告

## 「自彊不息」

自<sup>じ</sup>ら<sup>ら</sup>勉<sup>め</sup>め、自<sup>じ</sup>ら<sup>ら</sup>励<sup>め</sup>め!



神道政治連盟京都府本部  
本部長 林 秀俊

ご皇室の彌栄を第一に願う我々にとつて、今般千三百年の長きに亘り続けられて来た「皇家第一の重事、神宮無双の大宮」神宮式年遷宮の準備が、天皇陛下下の「御聽許」を賜り諸準備が進められる運びとなりましたこと、洵に畏き極みであります。

我々は神宮の真姿顕現に努め、皇室を中心と仰ぐ、麗しい国振りが發揮されるよう斯界を挙げ赤誠を以って取り組まなければならぬと考えております。

この重事諸準備開始の年に、不肖図らずも本部長の重責を担うこととなり、前田中本部長を始め先輩諸兄

が築いてこられた確固たる活動の数々を貶めることのないように役員一丸となり努めさせていただく覚悟でございます。

さて、国内外共々混迷した昨今、ことに日本人としてのアイデンティティーが問われるときではないかと感じております。

小泉首相は平成十三年八月十三日公約どおり靖國神社を参拝され二百四十六万六千余柱の英霊に対し真摯に頭をたれ追悼の誠をささげられて以来毎年参拝をされていることは、一国の首相として当然の行為であり、それは常識あるものであれば誰しも認めるところであります。

靖國神社には戊辰戦争以降国の為に命を捧げられた英霊、その中には先の大東亜戦争の沖繩戦に殉じた「ひめゆり部隊」や、樺太で任務を果たした後に自決をした真岡郵便局の電話交換手らの霊も祀られています。しかし一部の歪曲したイデオログにより煽動された人々が小泉首相と、こともあろうに靖國神社を相手に訴訟を起こし、祖国の為に尊い命を捧げられた英霊に対する暴挙と



Reflect the times

# ふたつの家族

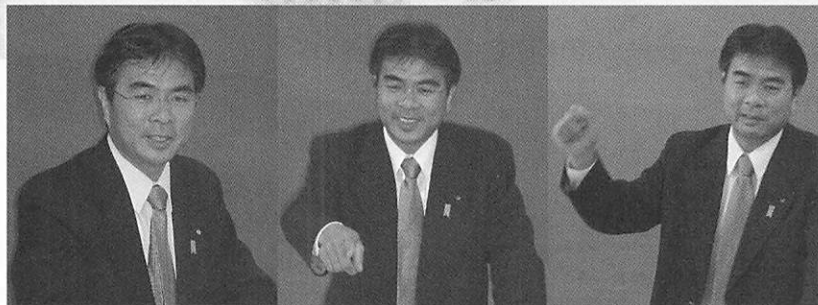
退任の挨拶

神道政治連盟京都府本部  
前本部長 田中 恆清

しか言いようのない訴訟が、大阪を  
始め全国六箇所ですべて提訴されました。  
三月十六日の愛媛訴訟判決において  
は適切な判断が下されたものの、福  
岡地裁における訴訟では傍論とはい  
えこれまでの「目的・効果基準」と  
いう判断基準により、憲法には違反  
しないという解釈が踏襲されてきた  
にもかかわらず、首相の参拝は違憲  
と特定の主義主張に左右された判断  
が下されたことは全く許しがたいも  
のであります。

花咲かそうと誓い散華されたのであ  
ります。  
私達はこの一連の裁判において踏  
みにじられた英霊の名誉回復のため  
にも更なる言上げをしなくてはなら  
ないと思っております。  
しかるところこれらの問題は全て  
現行「日本国憲法」に起因するとい  
るのであり、何が大切なのか見極める  
ことなく、違憲合憲解釈論のみに走  
るヤカラ達の精神の根底は、日本人  
教育の基本となる現行「教育基本法」  
にあることは明確であります。一見  
地球市民にとっては大変すばらしい  
ものとし映らない現教育基本法、  
しかしながら国籍を持たない本法に  
は現行憲法と同様、日本人にとって  
一番大切な日本人としての国民性、

伝統、価値観、誇りある日本国民と  
しての自覚を促すもつとも大切なも  
のが欠落しており、いわゆる「権利  
の重視」「義務の軽視」といった身  
勝手な現代人的思想を生み出す背景  
となっております。  
我々は皇室尊厳護持運動はもとよ  
り、自主憲法制定、教育基本法改正、  
靖國神社公式参拝運動をはじめとす  
る国民精神復興運動を更に強力に推  
し進めなくてはなりません。役員一  
同任期三年「自強不息」の精神を忘  
れることなく鋭意努力してまいりた  
く存じます。  
会員各位の更なるご支援お力添  
えを切にお願い申し上げます。



## 頼もしい新体制 本部役員の活躍に期待

今という時



此度昭和六十一年四月一日当本部副幹事長を拜命してより本部長を最後に十八年間に亘って務めさせて頂いた神道政治連盟京都府本部の役員を辞し、後任に林秀俊副本部長が本部長に選任され新しい

体制も整い、役員構成も大幅に若返りましたことは、常に行動力が要求される神政連活動にとつて誠に頼もしい限りです。私に対し永年に亘りご指導ご協力下さいました関係各位に、この紙面をお借りしお礼申し上げる次第であります。

さて我国は今、戦後に放置してきた民族精神を回復し、その大きく深いツケをすべて精算し、誇り

ある国柄を世界に示さなければならぬ秋なのです。

歴史や伝統、文化に根ざした憲法や教育基本法の改正は言うまでもありませんが、更に重要なことは、家族の立て直しにあると思います。一部過激なフェミニストによる夫婦別氏姓を目論む民法や関連法規の改悪を始め、所謂ジェンダーフリー思想に基づく極端な男女の性差を無視する男女共同参画条例の各地における強引な制定運動等、家族を解体し延いては社会共同体を破壊し、究極的には国家を消滅させようと企むイデオロギー集団の暗躍等、今や国家の基礎集団である家庭が完全に分解しようとしています。

私達は斯様な状況をしっかりと直視し、国家とは何か、社会とは何か、そして家族とは何かについて深く思いを致し、真剣に問い直し見つめ直さなければなりません。こんな時代にあつて、私たちは今日我国古来の伝統的な家族と、所謂個人主義という名の利己的個人が構成する家族の有り様を確認する二つの出来事に遭遇する機会を得ました。

## 家族とはどうあるべきか 声を大にして問う

今という時

ひとつは、北朝鮮という独裁国家の犯罪によって拉致された被害者及びその家族の、毅然とした態度。そして国益を優先させるとの信念に基づいた政府との振れないやり取り。一貫した家族間の結束と主張。正に伝統的な運命共同体としての家族の姿を、私たちは心強く思い、そして確認することができました。

片や、戦時下のイラクに自己主張を実現するために無謀に入り込み、必然的に人質となった日本人五人。いずれも左翼プロ市民運動等に没頭している連中であり、カルトウオッチャー中宮崇氏は、「自らの無力さ、矮小さに我慢出来ず、自分が世界を救うことが出来るという思い上がりに基づいて見境のない行動をし、結局は『世界への奉仕』どころか『世界への大迷惑』しか残さない」と雑誌「諸君」紙上で述べています。至言であると思います。

そして最も看過できないことは、

これら人質家族の異常且つ傲慢な国家や政府批判であります。拉致犯がアピールする自衛隊撤退をそのまま声高に叫び、小泉首相や川口外相と会わせろ等、ひたすら一方的な要求と自己正当化のみに専念し、我国政府を始め数多の他人に迷惑をかけたことに対する謝罪の気持ちは一切持たない不遜な言葉や行動であります。即ち、戦後教育の害毒である権利のみを主張し義務を負わないと言う得手勝手な独善主義を、正に絵に描いた家族を現実に目にしたことでありました。

私達は、この全く異なる家族の有り様を鏡として、家族とはどうあるべきかを自らに問いつつ、正しい家族観の確立のため、事あるごとに共に声を大にして国民に訴える運動を展開していかなくてはならないと思うこと一人の今日であります。

結びに、永年に亘つてご高誼ご教導下さいました皆様に重ねて心より感謝申し上げます。退任のご挨拶とさせて頂きます。有難うございました。

平成十六年四月吉日

### 天皇陛下と靖國神社

明治天皇の思召しによって創建された東京招魂社が初めて行幸を仰いだのは明治七年一月のことです。その折の御製に

我國の為をつくせる人々の名もむさし野にとむる玉垣

とあります。それ以来、明治天皇は七回、大正天皇には二回、昭和天皇には二十八回（戦後八回）お参りになっています。また、本殿の後ろ、御祭神の名前や生没年などを記した約二千冊の靈癩簿をお収めする靈癩簿奉安殿は、陛下から賜った御内帑金（お手元金）をもとに昭和四十七年に建てられました。

今上陛下には、皇太子の折に五回お参りになりましたが、ご即位後はお参りが叶わず、春秋の例大祭に勅使のご差遣に



## 慰霊と感謝の杜

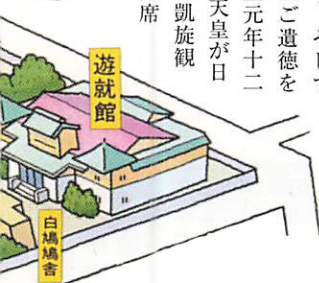
# 靖國神社

与るところです。世論が成熟し、有り難くお迎えてできる日が早く来ることを願うばかりです。

### 靖國神社の例大祭

明治二年（一八六九）六月二十九日に創立され東京招魂社と呼ばれた当初、戊辰戦争の節目を記念し、例祭日は、鳥羽・伏見の戦い勃発の正月三日をはじめ、五月十五日、五月十八日、九月二十二日と定められました。ついで明治十二年「靖國神社」と改称になり、例大祭も五月六日と十一月六日に変更になりました。そして

明治天皇のご遺徳を偲び、大正元年十二月に、明治天皇が日露戦役陸軍凱旋観兵式にご臨席

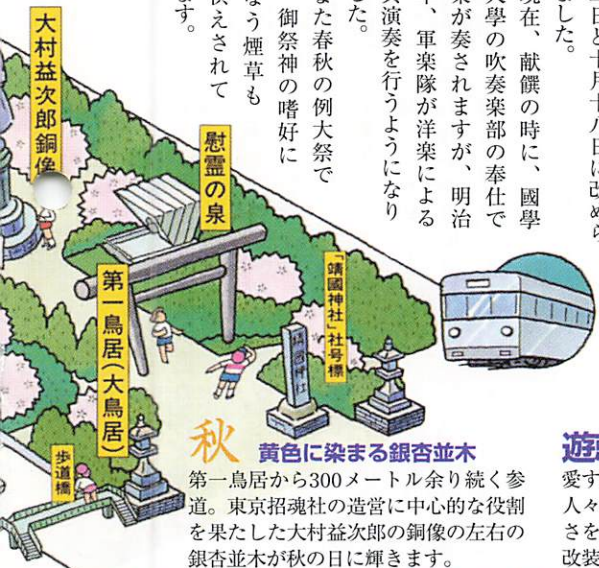


国安らかならんことを祈り殉じた二四六万六四九五柱の神々、数珠を手にした老婦人が御霊の安らかならんことを祈り涙してお参りするお宮。死者の御霊と生者の魂が行き逢うところ。

になった四月三十日と、海軍凱旋観艦式にご臨席になった十月二十三日に変更されました。さらに大東亜戦争後、新憲法の公布に先立ち、春分の日と秋分の日を昭和二十一年の新曆に換算した、四月二十二日と十月十八日に改められました。

現在、献饌の時に、國學院大學の吹奏楽部の奉仕で洋楽が奏されますが、明治八年、軍楽隊が洋楽による祭典演奏を行うようになりました。

また春秋の例大祭では、御祭神の嗜好にかなう煙草もお供えされています。



**遊就館** 遺徳を称え真心を受け継ぐ愛する家族と祖国のために尊い命を捧げた人々の遺品の数々に、国を守ることの厳しさを知ることが出来ます。平成14年に全面改装されました。

**秋** 黄色に染まる銀杏並木 第一鳥居から300メートル余り続く参道。東京招魂社の造営に中心的な役割を果たした大村益次郎の銅像の左右の銀杏並木が秋の日に輝きます。







出演/マリオネット ポルトガルギター&マンドリン

おがたまの木コンサート

CONCERT

想い  
想われ  
ふりふられ

聞いて、聴いて、  
見つめてほしい。  
あなたは、自分が好きですか？

主催 ■ 京都の縁を語る女性の会

**とき** 平成16年 **7月11日(日)**  
13:30 開場  
14:00 講演

チケットご予約 お問い合わせ  
**075 (863) 6677**  
〒616-0022  
京都市西京区嵐山朝日町68-8  
京都府神社会館内  
「京都の縁を語る女性の会」事務局

皇學館大學教授 **橋本雅之氏**  
テーマ/確かな世界へ帰っていく物語  
～映画「男はつらいよ」を通して～  
「失われた絆」をどのように回復すればいいの  
か？そして善意とは？このふたつの問いを貴さん  
に尋ねます。映像も紹介しながら楽しく考えます。



オガタマノキをご存じですか？  
「招霊木」とも書き、語源は招霊の  
古語「おきたま」から転じたと言  
われています。古來この木の枝を  
神前に供え、神霊を招いたことに  
由来しています。オガタマノキは  
神社を中心とする鎮守の杜に欠か  
せない大切な木なのです。  
この木の下に集い、語りに学び、  
音楽に酔う。そんな「おがたまの  
木コンサート」で、どうぞ素敵  
ひとときをお楽しみください。

**15:30 マリオネットコンサート**

日本のポルトガルギターのバイオニア・湯淺隆と斯界が注目する屈指のマンドリン奏者・吉田剛士によるアコースティックユニット。ポルトガルギターやマンドリユートなど演奏者の少ない楽器を組み合わせ、独特のオリジナル音楽を創作。ファド(ポルトガル・アルファマ地方の歌)やポピュラー音楽まで幅広い音楽活動を行っています。



**ところ** 京都文化博物館 別館ホール  
京都市中京区三条高倉 電話 075 (222) 0888

- 地下鉄「烏丸御池駅」下車、三条通りを東へ徒歩3分
- 阪急京都線「烏丸駅」下車、高倉通りを北へ徒歩7分
- 京阪「三条駅」下車、三条通りを西へ徒歩15分
- JR「京都駅」から地下鉄へ
- 近鉄「竹田駅」「京都駅」から地下鉄へ
- 「新田辺駅」から地下鉄「烏丸御池駅」へ直行もあります。

**入場料** 2,000円

神道政治連盟京都府本部 組織一覽 任期：平成16年 4月1日～平成19年 3月31日

役職	氏名	神社名	神社役職	役職	氏名	神社名	神社役職
本部長	林 秀俊	大原神社	宮司	組織委員	宮内 寛	八幡宮社	宮司
副本部長	竹内 幸平	八坂神社	権宮司	〃	川勝多嘉志	京都府神社総代会	〃
〃	室田 一樹	岩屋神社	宮司	〃	牧 宏明	日吉神社	宮司
〃	吉田 武雄	豊國神社	禰宣	網紀委員長	鈴鹿 隆男	京都府神社総代会	〃
幹事長	梶 道嗣	石清水八幡宮	権禰宣	〃	今原嘉麻呂	大將軍神社	宮司
副幹事長	花房 義久	宇治神社	禰宣	〃	藤野 清臣	山國神社	〃
〃	安井 正明	賀茂別雷神社	権禰宣	〃	中田 幹男	伏見神宝神社	〃
〃	松吉 真幸	北野天満宮	〃	財務委員長	中小路宗廣	文字天満宮神社	〃
〃	本田 亨史	岡崎神社	禰宣	財務委員	上 祐忠男	京都府神社総代会	〃
〃	堀川 博史	石清水八幡宮	権禰宣	〃	孝 学 晔	水火天満宮	宮司
〃	藤森 長正	藤森神社	禰宣	〃	矢部 豊佐加	八幡宮社	〃
〃	鳥羽 重宏	城南宮	宮司	會計責任者	後藤 重和	倭文神社	禰宣
〃	鷹野 尚志	京都府氏子青年連合会	〃	會計責任者職務代行者	山田 敦子	田中神社	宮司
監査委員長	西 出 浩	京都府神社総代会	〃	事務局長	中嶋 茂博	京都府神社庁	参事
監査委員	太田 忠雄	鞍岡神社	宮司	事務局次長	大久保博範	石清水八幡宮	権禰宣
〃	薬師 寺 勉	三之宮	〃	事務局員	稲本 高統	大井神社	〃
〃	宇佐 美伸二	菅原院天満宮神社	〃	〃	中森 圭治	京都府神社庁	録事
〃	澤井 隆男	吉田神社	〃	〃	吉田 有里	京都府神社庁	〃
〃	〃	〃	〃	〃	三井 神 作	京都府神社庁	〃

12月 師走

- 16日(火) ・京都府本部時局講演会開催 田中本部長以下関係者出席
(於 京都府神社会館)
・清政第35号発行
・京都府本部役員会及び懇親会開催
(於 京都府神社会館及び豊しげ)

1月 睦月

- 15日(木) ・神政連中央本部会計監査 田中中央本部幹事長出席
(於 神社本庁)
20日(火) ・京都府神社庁新年神職総会 田中本部長以下関係者参列
(於 京都府神社会館)

2月 如月

- 9日(月) ・京都府本部創立30周年会計打合せ会 田中本部長以下関係者出席
(於 京都府神社会館)
10日(火) ・京都府本部臨時役員会開催 (於 京都府神社会館)
11日(水) ・建国記念の日奉祝京都式典 (於 八坂神社常磐新殿)

3月 弥生

- 9日(火) ・京都府本部役員会開催 (於 京都府神社会館)
・京都府本部創立30周年記念事業実行委員会解散式
(於 京都府神社会館)
17日(水) ・京都府本部臨時時代議員会開催 (於 京都府神社会館)

4月 卯月

- 6日(火) ・英霊にこたえる会京都府本部運営委員会 中嶋事務局長出席
(於 京都府神社会館)
8日(木) ・神政連中央本部四役会 田中中央本部幹事長
(於 神社本庁)

5月 皐月

- 8日(土) ・京都府神社総代会洛東支部総会 林本部長出席 (於 魚善)
13日(木) ・おがたまの本コンサート打合せ会 5名出席
(於 京都センチュリーホテル)

6月 水無月

- 9日(水) ・京都府本部組織委員会開催 (於 京都国学院)
10日(木) ・神政連中央本部四役会 田中中央本部幹事長出席
(於 神社本庁)

入会受付中!!

神道政治連盟京都府本部では、新規会員を募集しています。
・正会員 年会費2,000円(運営費を含む)
・有効会員 年会費3,000円(運営費を含む)
神道政治連盟京都府本部事務局までお問い合わせください。
電話 075-863-6677
FAX 075-863-6665
電子メール kyo-jin@mbox.kyoto-inet.or.jp



COLUMN

御歌を拝して。

旅斎ふと参来し丘のみささぎに
花さばに持つみ柗捧ぐ
皇后陛下が、昭和五十四年の歌会始
御題丘に詠まれた御歌です。

外国御訪問の御奉告に、先帝陛下の
御陵にお参りになり、清楚で愛らしい
白い花がたくさんついた柗の玉串を
捧げられた様子をお詠みになつてい
ます。

ちょうど前年の昭和五十三年六月、
ブラジル・パラグアイ両国を御訪問に
なった 皇太子同妃両殿下(当時)に
は、十八日、八万人もの人々が出迎え
るサンパウロ州州パカエンブルー競技場
にお出ましになり、日本人ブラジル移
住七十周年記念式典に御臨席、移住者
の労を慰まれ、温かい激励のお言葉を
賜りました。ブラジルへは、昭和四十
二年五月と平成九年六月にも御訪問
になり、日系の人々に格別の御心をお
寄せになつています。

さて、皇太子同妃両殿下が、外国を
訪問される際には、まず先帝の御陵に
御参拝になり、日を改めて宮中三殿の
賢所皇霊殿神殿にお進みになります。
そして御帰国後はそれぞれ御奉告にお
出ましになります。またその前後、
伊勢の神宮と神武天皇陵に御代拝が
お立ちになる由、もれ承ります。深い祈り
を捧げ、外国御訪問に向かわれるのです。

## 編集室だより

● 神道政治連盟-私達は日本の将来を思い、日本らしさを守るべくPR活動を行ったり、国民運動を展開し、日本人が守り伝えてきた精神を大切に政治が行われるように呼びかけ、日本を大切に議員を応援しています。

イラクでの自衛隊活動、依然進展しない北朝鮮の拉致問題、日本人が行けない日本の島の存在等、私達日本人の尊厳を根底から揺るがしかねない多くの内外の問題に、日本人である私達一人一人が真剣に向き合い、正しい日本の将来を築きましょう。

### ● 新規ご入会受付中 ●

神道政治連盟京都府本部では、新規会員を募集しています。会員の皆さまも、身近な方々にご入会をお勧めください。

- ・正会員 / 年会費2,000円
- ・有効会員 / 年会費3,000円  
(いずれも運営費を含む)

詳しくは、神道政治連盟京都府本部事務局までお問い合わせください。

電話 / 075-863-6677

■ FAX・電子メールは、下記編集室と同じ

● ご意見ご感想をお待ちしています。  
投稿はご氏名ご連絡先を明記の上、FAXか電子メールでお願いします。

宛先 / 神道政治連盟京都府本部  
「清政」編集室  
ファックス / 075-863-6665  
電子メール /  
kyo-jin@mbox.kyoto-inet.or.jp



このロゴマークは、わたくしたちの会名である「神道政治連盟」の英訳の頭文字SAS (Shinto Association of Spiritual Leadership) と日本古来の装飾品である勾玉(マガタマ)をデザイン化したものです。

## 清政 第36号

発行日 平成16年6月23日(水)

発行所 神道政治連盟京都府本部  
〒616-0022 京都市西京区  
嵐山朝月町68-8

電話 075-863-6677

神政連ホームページを  
ぜひご覧ください。

<http://www.sinseiren.org>

編集協力 (株)ハルプロモーション



市村眞一 先生プロフィール

大正14年、京都市生まれ。大阪大学教授、京都大学教授、大阪国際大学副学長、(財)国際東アジア研究センター所長などを歴任。現在は同センター顧問。専攻は計量経済学、経済発展論。著書に「現代をどうとらえるかーイデオロギーを超えて」「日本とアジア発展の政治経済学」など多数。

その後世界では、①大国が分裂し少数民族が独立(例、東欧)する一方、②N A F T AやE Uといった地域ごとの国家連合が出来るという相反する動きが見られる。こうした状況の中、マハティール首相の「アジアもまたまった方がよい」との提言に対し、アメリカのペーカー国務長官が、「太平洋に線を引くこととは罷りならぬ」と反対したが、日本は東アジアに第三の極を作ること国家戦略とすべきである。けれども、この第三の国家連合成立の前に、中国が大きく立ち上がった。先生は続けて語られる。

# 神政連 時局 講演会

### 国家戦略ー東アジアに第三局を

平成十五年十二月十六日、京都府神社会館に市村眞一先生を迎え、神政連時局講演会が開催された。先生曰く、

第二次世界大戦後、平和が訪れるという幻想は崩れ、冷戦を迎えた。そしてソ連は、レーガン大統領の軍備増強に対抗するべく軍事力を強化したが、その経費を経済が支えきれず、ソ連は崩壊してしまう。すなわち冷戦に敗れたのである。

### 大陸国家中国 V S 海洋国家日本

なぜなら国家には①大陸国家と②海洋国家があり、その成り立ちの根本的な違いから、互いに支配することが難しい。日本やイギリスは海洋国家であるが、ロシアや中国・インドといった大陸国家はどうしても中核国家になろうとする。ヨーロッパはその中間の半島国家と言えるが、日本は、東アジアの半島国家と緊密な関係を結ぶべきである。しかも今やインドもパキスタンも、旧ソ連邦の中央アジア諸国も、ひいてはロシアまでアメリカ寄りになり、中国包囲網が完成、中国国内でも日本と融和政策をとるべきとの発言が見られるなど変化の兆しがある。今こそ日本がイニシアチブをとり、中国や韓国を説得して第三極を結成すべきである。そのために日本は、弱体化しつつあるインドネシアやフィリピンなどの海洋国家群を援助して国々をまとめ、そして中国と対抗し、あるいは協調し、中国が抱える少数民族の独立を認めるよう中国に勧める必要がある。

### 憲法ー天皇は元首、皇室の強化を

一方日本国内では、自主憲法を制定し、憲法九条の改正はもとより、天皇陛下の御地位を元首として確立すべきであると強調された。海外で陛下は、国家の元首として迎えられ、外国の軍隊を閲兵され、無名戦士の墓に参拝されるのに、国内では靖國神社に参拝することも叶わない。国体には君主制と共和制があるが、権威と権力が別の君主制には、①失政があったときに首相がいつでも辞職できる。②最高権威者になれないので、政治家の権力欲が自ずと抑制される、という良さがある。そして、この天皇制を守るために、①天皇は元首であると明確に規定し、②皇室の蕃屏を増やすべく、女子が宮家をたてられるように「皇室典範」を若干改正すべきであると述べられた。

東アジア諸国の有徳のリーダーになるという戦略を国家が持ち、その実現のため責務を果たすという気概を国民一人一人が持つことこそ、「失われた日本」を取り戻す道であると感じた。

(鳥羽重宏)